



令和7年度 よこはま子ども 国際平和プログラム

報告書



令和8年3月

よこはま子ども国際平和プログラム実行委員会

協賛:株式会社オカムラ・横浜冷凍株式会社

Yokohama Children's Peace Message 2025

The summer of 2025 marks the 80th year of the atomic bombings of Japan. Since then, both Japan and the world have changed significantly, leading in an era where people across the planet can freely interact with each other. At the 2025 Expo Osaka, people worldwide were excited to come together and encounter many different cultures and experience the advancements in technology. There existed an ideal world where people respect the diversity of cultures, rejoice at each other's development, and mutually learn from one another.

Yet 80 years later, countless nuclear weapons still exist. In some areas, conflicts are deepening, and the tragic decision to go to war is made. In consequence, the lives of innocent children are being taken away even at this very moment. Is war really inevitable? If we truly understand the evils of war and the danger of nuclear weapons, we will not say such a thing. Despite knowing the tragic truth, why does war persist? What have we learned these years? What have we missed? Have we ever listened to the voices of those scarred by war? Have we ever seriously considered the happiness of children on the other side of the world? People make mistakes. That is why, how we confront the outcomes of our actions deeply matters. Should we not continue to think responsibly to prevent war from ever being repeated again?

Listen to the voices of people affected by war. Learn and understand culture and history properly. Don't ignore the issues but think of them as your own responsibility. Respect differences and listen to a variety of opinions. Find the good in differences. Question unconscious assumptions. Keep learning. Take the lead. Even as children, there is much that we can do. In fact, there are things only we can do precisely because we are children.

We must tell this to the world right now. We are taking a step forward believing we can change the world someday. For world peace rests in our hands.

2025 Yokohama Children's International Peace Program Members

よこはま子どもピースメッセージ2025

今年の夏で、原子爆弾が日本に投下されてから 80 年が経ちました。日本も世界も大きな進化を遂げ、世界中の人々が自由に交流する時代になりました。大阪・関西万博では、世界中から人が集まり、異文化との出会い、テクノロジーの進化に心を躍らせた。互いの文化を尊重し、発展を喜び合い、学びあう理想の世界がそこにはありました。

一方で、80 年という長い年月が過ぎた今も、世界には数えきれないほどの核弾頭が存在しています。世界の一部では対立が深まり、戦争という悲しい選択がされています。その結果、今日も子どもたちの命が奪われているのです。「戦争は仕方がないこと」でしょうか。もし、戦争や原子爆弾の恐ろしさを知っていたら、そんなことを言えるはずはありません。悲惨な事実を知りながら、なぜ戦争は終わらないのでしょうか。この 80 年間、人は何を学び、何を見過ごしてきたのでしょうか。戦争で傷ついた人の声に耳を傾けたことがありますか。地球の裏側にいる子どもたちの幸せを、真剣に考えたことはありますか。人は間違いを犯します。だからこそ、そのあとにどう向き合うかが大切なのではないでしょうか。二度と戦争を繰り返さないために、考え続けることが必要なのではないでしょうか。

戦争経験者の声を聞くこと。文化や歴史を学び、正しく理解すること。事実から目をそらさず、自分事として考えること。違いを尊重し、様々な意見に耳を傾けること。違いの中から良さを見つけること。無意識の思いこみに疑問をもつこと。学び続けること。発信すること。自らリーダーシップをとること。子どもである私たちにも、できることはたくさんあります。いや、子どもだからこそできることもあるのです。

どうしても今、世界に伝えたい。いつかきっと世界を変えられると信じて、私たちは、一歩を踏み出します。世界平和は、私たちの手にゆだねられているのだから。

令和7年度 よこはま子ども国際平和プログラム子ども実行委員

この「よこはま子どもピースメッセージ2025」は、38 名の子ども実行委員が意見を出し合って作成し、子どもピースメッセンジャーがニューヨークの国際連合本部等に届けました。

概要

本事業は、昭和61年度から平成9年度まで12回(12年間)にわたって開催された「よこはま子ども国際平和フェスティバル」の趣旨を生かし、平成10年度に「よこはま子ども国際平和プログラム」と改めました。本市では、この事業を国際理解教育の一環として位置付け、横浜市内の児童生徒の国際平和への意識を高めるとともに、国際平和の大切さを、市民をはじめ広く世界に呼びかけるために行っています。

令和7年度は、例年実施している「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」「子ども実行委員会」「よこはま子ども国際平和募金」「よこはま子どもピースメッセンジャー国際連合本部等派遣」に加え、昨年度初開催した「よこはま子ども国際平和シンポジウム」を、内容を充実させて再び開催しました。これらの取組を通して“国際社会で自分たちのできること”を考え、発信し、行動するグローバル人材の育成を行いました。

「よこはま子ども国際平和プログラム」事業内容

活動内容

「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」で各区の選考及び事務局審査を経て本選に出場した児童生徒38名全員が「よこはま子ども国際平和プログラム子ども実行委員」として委嘱され、活動します。

また、本選で市長賞を受賞した小学生2名、中学生2名は、「よこはま子どもピースメッセンジャー」としても委嘱され、活動します。

日程	活動内容	子ども実行委員の活動	ピースメッセンジャーの活動
8月	子ども実行委員・子どもピースメッセンジャー委嘱式 第1回子ども実行委員会	○	○
9月	ユニセフ東京事務所・日本ユニセフ協会訪問 ユニセフハウス施設見学		○
10月	ニューヨーク国際連合本部等訪問・会談 国連国際学校(UNIS)体験入学		○
11月	日本ユニセフ協会 ユニセフハウス施設見学	希望者	希望者
12月	第2回子ども実行委員会	○	○
	下田教育長への活動報告		○
	神奈川県ユニセフ協会 「ハンド イン ハンド」街頭募金活動、オンライン募金	希望者	希望者
1月	横浜市 ESD 推進コンソーシアム交流報告会		○
3月	よこはま子ども国際平和シンポジウム	希望者	○
令和8年 7月	よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト司会・ 前年度の活動報告		○
令和8年 8月	子ども実行委員・ピースメッセンジャー委嘱式司会 (前年度小学校の部市長賞受賞者)		○

● よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト

- 1 応募者数 48,461名(小学生28,483名 中学生19,978名)
- 2 参加校数 484校(小学校338校、中学校146校)
- 3 対 象 横浜市内小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校
- 4 テー マ 「国際平和のために、自分にできること」
(「SDGs」17の目標に関連付ける)
- 5 経 過 令和7年4月下旬から 出場者募集
5月中旬～6月中旬 スピーチ原稿作成・校内選考
6月中旬～7月上旬 区審査会・事務局審査

6 本 選

- (1) 開催日 令和7年7月22日(火) 中学校の部 19名出場
7月23日(水) 小学校の部 19名出場
※各区代表児童生徒(各18名)及び私立学校代表児童生徒(各1名)

(2) 会 場 南公会堂

(3) プログラム スピーチ 子どもピースメッセンジャー活動報告



【市長賞 受賞者】



大丸 優衣



小林 空神



リム ケイクン



篠浦 智香

【教育長賞 受賞者】



武田 花楓



小松 真由美



コルビー 恵美



小杉 かりん

【審査委員長賞 受賞者】



森 晴奈



押山 美蘭



山口 美奈



浪岡 奏充

●「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」本選出場者(子ども実行委員)一覧

【7月22日(火)開催 中学校の部】

敬称略 並びは発表順

	区	学校名	氏名	学年	スピーチタイトル
市長賞	みどり 緑	た なちゅうがっこう 田奈中学校	しのうら ち か 篠浦 智香	3	さいしょ いっぽ 最初の一步
	いずみ 泉	かみいいたちゅうがっこう 上飯田中学校	リム ケイクン	3	きぼう さくら 希望の桜
教育長賞	にし 西	かるいさわちゅうがっこう 軽井沢中学校	コルビー えみ 恵美	3	たちば こ 立場を越えて
	ほどがや 保土ヶ谷	いわさきちゅうがっこう 岩崎中学校	こすぎ 小杉 かりん	3	いふく はじ こくさいへいわ 衣服から始める国際平和
審査 委員長賞	あおば 青葉	な らちゅうがっこう 奈良中学校	やまぐち み な 山口 美奈	2	はっけん ほっしん きょうゆう せかい か 「発見」、「発信」、「共有」が世界を変える
	こうほく 港北	しろさとちゅうがっこう 城郷中学校	なみおか そうま 浪岡 奏充	3	ひと 一つくらいなら・・・
優秀賞	かながわ 神奈川	くりた やちゅうがっこう 栗田谷中学校	てい い ほ 丁 旂凡	3	せかい つな ひみつ 世界を繋げる秘密のカギ
	しりつ 私立	かながわだいがくふぞくちゅうがっこう 神奈川大学附属中学校	そん りんりん 孫 琳琳	3	きょうよう つな こころ せかい 教養 が繋ぐ心と世界
	なか 中	おおとりちゅうがっこう 大鳥中学校	ひだか ゆう な 樋高 優々杏	3	ふひょうどう すく せかい いま じぶん 不平等の少ない世界のために今の自分にできること
	つづき 都筑	なかがわにしちゅうがっこう 中川西中学校	たかもと さき 高本 咲	2	かんこうち ちい えがお こうかん 観光地での小さな笑顔の交換
	とつか 戸塚	ひらどちゅうがっこう 平戸中学校	ベンウェル ヒロ	2	フルーツサラダ
	つるみ 鶴見	やこうちゅうがっこう 矢向中学校	いしわた みずき 石渡 瑞絆	2	ぶ き ちしき 武器ではなく知識を
	かなざわ 金沢	とみおかひがしちゅうがっこう 富岡東中学校	よし 吉井 れいな	3	みどり
	みなみ 南	きょうしんちゅうがっこう 共進中学校	なち ゆめ か 名地 優芽花	3	しょくひん せかい 食品ロスがない世界を
	あさひ 旭	さこんやまちゅうがっこう 左近山中学校	いよだ りょうこ 伊豫田 涼子	2	いま 今、ここにいる
	いそご 磯子	ようこうだいいいちちゅうがっこう 洋光台第一中学校	おおたき いぶき 大滝 一颯	3	みちか さべつちい えいきょう 身近な差別小さな影響
	せ や 瀬谷	せ やちゅうがっこう 瀬谷中学校	たなか さな 田中 沙菜	3	ひんこん わたし きより 貧困と私たちの距離
	こうなん 港南	まるやまだいちちゅうがっこう 丸山台中学校	むねとも 棟朝 ことは	3	こころ 心のバリアフリーを目指して
	さかえ 栄	ほんごうちゅうがっこう 本郷中学校	やまだ まな 山田 真愛	3	ゆた せかい 豊かな世界をめざして

【7月23日(水)開催 小学校の部】

	区	学校名	氏名	学年	タイトル
市長賞	にし 西	みやがやしやがっこう 宮谷小学校	だいまる ゆい 大丸 優衣	6	へいわ せかい む 平和な世界に向けて
	なか 中	ほんもくみなみしやがっこう 本牧南小学校	こばやし くらが 小林 空神	5	ちい やさ おお やさ 小さな優しさこそが 大きな優しさに
教育長賞	いずみ 泉	なかだしやがっこう 中田小学校	たけだ かえて 武田 花楓	6	みんながあんしんして暮らせる世界へ
	あさひ 旭	ふたまたがわしやがっこう 二俣川小学校	こまつ まゆみ 小松 真由美	6	あなたの「普通」で苦しめていないか
審査 委員長賞	とつか 戸塚	ひらどしやがっこう 平戸小学校	もり 晴な 森 晴奈	6	ひと 人とのちがいを大切に
	あおば 青葉	うつく おかしやがっこう 美しが丘小学校	おしやま みら 押山 美蘭	6	えら ひとり 「選ぶこと」で一人ひとりができること
優秀賞	ほどがや 保土ヶ谷	さくらだしいしやがっこう 桜台小学校	たかはし 杏 高橋 杏	6	「もったいないけん」の魔法
	こうなん 港南	こつぽしやがっこう 小坪小学校	むらさき ふみか 村崎 文香	6	よこすか ちい ちきゅう わたし みらい 横須賀の小さな地球と私たちの未来
	つるみ 鶴見	なまむぎしやがっこう 生麦小学校	とりた 部田 ちさと	6	「自分らしく」を自由に
	つづき 都筑	ちがさきひがししやがっこう 茅ヶ崎東小学校	ひらの ゆずる 平野 譲	6	ぼく せいかつ まな 僕がアメリカ生活で学んだこと
	いそご 磯子	ようこうだいいよんしやがっこう 洋光台第四小学校	やました さな 山下 紗菜	6	「当たり前のこと」
	かなざわ 金沢	かまり やしやがっこう 釜利谷小学校	わたなべ さく 渡邊 咲	6	さべつ へいわ せかい めざ 差別のない平和な世界を目指して
	さかえ 栄	いじましやがっこう 飯島小学校	はらだ かいせい 原田 海晴	6	ひとり じゆう い せかい 一人ひとりが自由に生きられる世界
	こうほく 港北	こづくえしやがっこう 小机小学校	ながお ゆずか 長尾 柚花	6	あした しあわ 明日がある 幸せ
	みどり 緑	ながつただいにししやがっこう 長津田第二小学校	もりた みお 森田 実織	6	じゆう えら せかい 自由に選べる世界へ
	みなみ 南	む かわしやがっこう 六つ川小学校	よ やなぎ 穂のか 四ツ柳 穂佳	6	い 生きていてほしくて
	せ や 瀬谷	かみせ やしやがっこう 上瀬谷小学校	おいかわ こはく 及川 瑚白	6	なか み ちがいのなかからよさを見つけて
かながわ 神奈川	こうがやしやがっこう 幸ヶ谷小学校	なわ ゆずな 名和 柚菜	6	ひと びょうどう しやかい どんな人でも平等な社会へ	
しりつ 私立	よこはまちゅうがくがくいん 横濱中華學院	つだ れな 津田 怜奈	6	ちい いっぽ おお もり 小さな一歩から大きな森へ	

●子ども実行委員・子どもピースメッセンジャー委嘱式

令和7年8月25日(月) 横浜市庁舎レセプションルーム

「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」の本選に出場した38名が「子ども実行委員」として山中市長から委嘱を受けました。なお、市長賞を受賞した小学生2名、中学生2名は「子どもピースメッセンジャー」としても委嘱を受けました。



●「子ども実行委員」の活動

★子ども実行委員会

38人の子ども実行委員で議論をしながら、国際平和への思いをこめた「よこはま子どもピースメッセージ2025」や「よこはま子ども国際平和募金呼びかけ動画」の作成などを行いました。

第1回 令和7年8月25日(月)

「よこはま子どもピースメッセージ2025」の作成

作成したピースメッセージは、ニューヨーク国連本部、国連日本政府代表部等に進呈しました。よこはま子ども国際平和シンポジウムでは、市民を含む多くの参加者に向けて、子どもピースメッセンジャーが発信しました。また、市内の小・中・義務教育・特別支援学校、協賛企業等に配布する報告書に掲載しました。



第2回 令和7年12月4日(木)

子どもピースメッセンジャー活動報告、「国際平和呼びかけ動画」の作成、講演「世界の飢餓問題と国連WFPの活動」(国際連合世界食糧計画WFP協会)

作成した「国際平和呼びかけ動画」は、市立小・中・義務教育・特別支援学校及び私立学校の子ども実行委員所属校へ公開し、各学校の国際平和への取組の中で活用されました。



★日本ユニセフ協会「ユニセフハウス」施設見学



都内にある日本ユニセフ協会「ユニセフハウス」に子ども実行委員の有志が訪問して、世界の子どもたちの現状を学び、国際平和について考えました。

実施日：令和7年11月22日(土)

★神奈川県ユニセフ協会「ハンド イン ハンド」街頭募金活動

第2回子ども実行委員会で、「国際平和呼びかけ動画」を作成し、国際平和への想いや行動することの大切さを呼びかけました。作成した動画は横浜市内の学校に向けて公開し、各学校で平和募金の呼びかけ等に活用します。また、街頭募金活動に子ども実行委員の有志が参加し、桜木町駅前で、市民に向けて国際平和の大切さを熱く呼びかけました。

実施日：令和7年12月20日(土)



★各学校での取組

- ◎国際平和募金活動でユニセフ募金など各種募金の呼びかけ
- ◎全校集会・学年集会・テレビ放送・ポスター・学校だより等での発信
 - ・自身のスピーチやピースメッセージについて
 - ・活動を通して学んだSDGs達成状況や世界の現状について
 - ・子ども実行委員及びピースメッセンジャーの活動について など

◎その他の取組

いじめをなくすための合言葉・ポスター・動画づくり／あいさつ運動／生徒会と連携した募金活動／難民の人に服を届けるプロジェクト／学校だよりへの執筆／能登半島地震募金活動／服を集める活動／道や公園での清掃活動／食品ロスを減らす呼びかけ／子どもピースメッセージ 2025 の中国語翻訳・ポスター作成／募金の使い道について議論→決定→購入→寄付／子ども実行委員作成「募金呼びかけ動画」を全校で視聴／相手の立場を考えて行動した／多様な価値観を尊重することを意識した／日頃から男女や学年を問わず様々な人に笑顔であいさつするようにした



<活動を通して感じたこと>

【新たな学び】

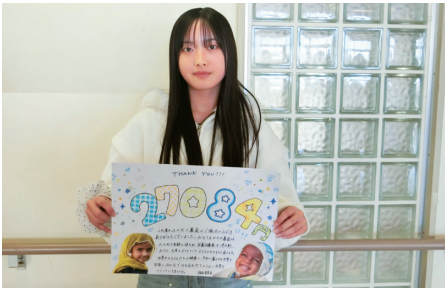
○以前は、身近なことを中心に考えていたけど、実行委員の活動を通して、世界の状況の深刻さを知り、そのために何が必要かを考えるようになった。そして、私たちは世界のために動けたんだ!と達成感を感じた。

○今までやってこなかったことに勇気を出して飛び込むことの大切さと楽しさを知った。

○戦争や貧困など、世界には様々な課題があるけれど、それを解決するために、子どもでも協力すればできることはたくさんあることを知った。

○ユニセフハウスの見学をして、自分と同じかもっと小さい子どもたちが日々苦しんでいる事実を知って衝撃を受け、自分にできることを真剣に考えるようになった。

○桜木町駅前でいった募金活動で、募金してくれる人がたくさんいることに感動し、平和のために活動することに意義を感じた。



【仲間との関りを通して】

○子ども実行委員には、自分にはない考えをもっている人がたくさんいて、みんなで話し合うことで考えを深めることができたし、自分だけでは解決できないことも前に進めることができて学びました。

○子ども実行委員会で講演を聞いたり仲間と話し合ったりすることで、国際平和の実現に向けて、地球全体を自分事のように考えること、対話をする事の大切さを改めて感じる事ができた。

○初めは、自分の考えを主張することにしか目が向いていなかったけど、子ども実行委員の仲間と一緒に考え、行動することで視野が広がり、国際平和のために行動を続けていきたいと強く思うようになった。

○ずっと興味をもっていた世界平和について、国連機関の方々や山中市長からもお話を聞いて、平和についての思いや知識が増えました。同年齢の人達が、自分と同じような思いをもっていることにも感動し、そんなみんなと世界平和について語り合うことができたことが一生の宝物になりました。

【これからの自分】

○様々な活動に参加し、世界のために行動する第一歩を踏み出せたと思う。これからも自分にできる行動を大切にしていき、いつかは国際平和に関わる仕事に就きたい。

○国際平和を実現させるためには、自ら行動を起こすことと同じくらい継続していくことが重要だと感じた。実行委員としての経験を生かして、今後も一人でも多くの人々に発信して、共に活動していきたいと強く感じた。

○子ども実行委員会の活動に参加したことが、自分の進路決定に大きく影響した。意見を出し合い、話し合い、テーマに向かって進むことができたことに充実感を感じた。活動を通して学んだことを自分の強みとして、何らかの形で人をつないでいきたい。

○自分にできることは、身近な人に自分の文化や考えを伝えたり、友達や周りの人を思いやったりすることだと思う。小さな行動でも、積み重なれば平和に向けた未来を作る力になることを、活動を通して実感した。世界をつなぐ架け橋になるという夢に向けて一歩一歩進んでいきたいです。



●「よこはま子どもピースメッセンジャー」の活動

スピーチコンテストで市長賞を受賞した小学生2名・中学生2名が以下の活動を行いました。

★UNICEF(国連児童基金)東京事務所、日本ユニセフ協会訪問

訪問日: 令和7年10月3日(金)

内 容: (1) UNICEF東京事務所 コミュニケーション専門官 中村 友香氏と会談

※令和6年度「よこはま子ども国際平和募金」(7,016,492円)

の目録と「よこはま子どもピースメッセージ2025」を進呈

(2) 日本ユニセフ協会 学校事業部長 金子雅彦氏と会談・ユニセフハウス施設見学



★ニューヨークの国際連合本部・UNICEF 本部・国連国際学校 (UNIS) 訪問及び交流等

派遣期間: 令和7年10月12日(日)~10月19日(日)

主な活動: (1) 国際連合本部等へ訪問

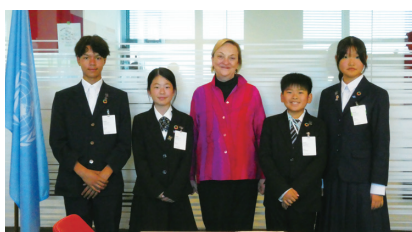
○「よこはま子どもピースメッセージ」を発表・伝達

○山中横浜市長から国連事務総長あてのメッセージを進呈

○令和6年度「よこはま子ども国際平和募金」(7,016,492円)の目録進呈

○国連関係者等との対談

- ・ 国際連合事務総長室 室長 コートネイ・ラットレー氏
- ・ 国際連合事務次長 軍縮担当上級代表 中満 泉氏
- ・ 国際連合事務総長補佐、国際連合国際学校 特別代表 リサ・ブッテンハイム氏
- ・ 国際連合経済社会局 (UN DESA) 包摂的社会開発部
部長 チャールズ・カトアング氏 社会包摂・参画課 課長 小野 舞純氏
- ・ 国際連合人権高等弁務官事務所 (OHCHR) 平等・開発・法支配課長 リオ・ハダ氏
- ・ 国際連合環境計画 (UNEP) 政府間問題担当部長 ジャミル・アフマド氏
- ・ 国際連合児童基金 (UNICEF) 本部 平和構築担当
国際統括責任者 ヴァネッサ・ワイエス氏 担当官 深瀬理子氏
- ・ 国際連合青年事務所 首席補佐官 エリゼウ・チャベス・ジュニア氏
- ・ 国際連合日本政府代表部 公使 森 尊俊氏 一等書記官 宇川 優 氏
- ・ ニューヨーク市 国際問題担当委員 アイサタ・M・B・カマラ氏



(2) 国連国際学校への体験入学・交流

<派遣を終えたピースメッセンジャーの声>

- 様々な考え方や文化に触れ、物事を多角的に見る大切さを学びました。国連で出会った人たちは、一人ひとりが行動することで世界を少しずつ良くしていました。僕も自分にできることを信じて行動し、誰かのためになることを続けていきたいです。
- この派遣で得た知識や気づきを、これからも積極的に発信し続けたいと思っています。私が見たり聞いたりしたことを共有することで、まだ問題に触れたことのない誰かが現状を知るきっかけになるかもしれないからです。
- 自分に何ができるかを考え続けること、世界を平和にするための行動を小さなことから積み重ねることで、より良い未来に繋げていきたいと思っています。
- この経験をいろいろな人に発信し、身近にできる親切な行動をしていきたいと思っています。その小さな発信と行動で世界は変わると思います。



★下田教育長への活動報告

実施日：令和7年12月17日(水)
内容：ニューヨーク国連本部等派遣の報告

★「ともに未来を創る」拠点校 交流報告会参加

参加日：令和8年1月24日(土)
内容：ニューヨーク国連本部等派遣の報告
「ともに未来を創る」拠点校の児童生徒との協議

●よこはま子ども国際平和シンポジウム

実施日：令和8年3月6日(金) 午後
目的：「よこはま子ども国際平和プログラム」を通じた子どもたちの声と、国際平和のために活動している大人たちの声を聞き、子どもと大人が共に国際平和を考える。

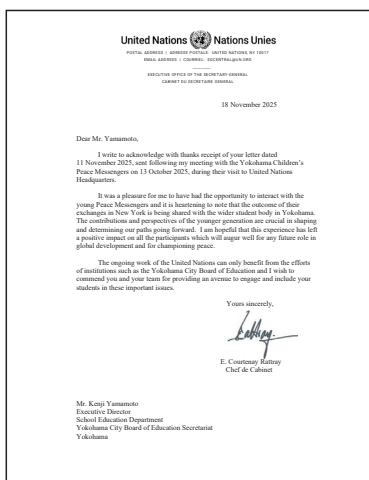
参加者：〈会場〉子ども実行委員、市立学校児童生徒、一般市民
〈オンライン〉市立学校児童生徒、長崎市立城山小学校児童、
長崎市教育委員会事務局指導主事、一般市民

内容：山中市長挨拶
「よこはま子ども国際平和プログラム」の紹介
よこはま子どもピースメッセージ発表
子どもピースメッセンジャー派遣活動報告
長崎市立城山小学校との交流・意見交流
パネルディスカッション 登壇者：

国連開発計画 駐日代表事務所 TICAD 連携専門官 近藤千華氏
H24子どもピースメッセンジャー IHEID 研究助手 シナバーガー英利佳さん
R5子どもピースメッセンジャー 山手学院高等学校 大野瑞葉さん
R6子どもピースメッセンジャー 横浜商業高等学校国際学科 林睿騰さん
意見交流
下田教育長挨拶

Blue Voice ～どうしても今、セカイへ伝えたい～

「Blue Voice」— これは令和6年度に生まれたチーム名です。プログラムに参加した子どもたちが「国際平和のために行動した自分に誇りをもち、仲間と一緒にこれからも平和のために行動を続ける」ことを期待し、誕生しました。



このチーム名には、「青い空の下では世界中のみんながつながっている。自分たちの思いを世界へ届けたい。」という願いが込められています。

その願いが形になったと感じた瞬間がありました。子どもピースメッセンジャーが実行委員のみんなで作った「子どもピースメッセージ2025」を国連で伝えたときのことです。世界の平和のために働く方々が、横浜の子どもたちのメッセージに涙を浮かべ、ある方はこう語りました。「世界では戦争や紛争が続き、私たちに止められないことがつらくなる時がある。でも毎年、横浜から平和を願う子どもたちの声を届けてくれる。その度に、自分の仕事に誇りを取り戻し、平和のためにもう一度力を尽くそうと思える。」横浜の子どもたちの行動が、世界を確かに平和へ近づけた— そう実感した瞬間でした。

国連事務総長室長 コートネイ・ラットレー氏からの礼状

このプログラムに参加している一人ひとりが、すでに未来を動かしています。

●「よこはま子ども国際平和プログラム」実行委員会

『よこはま子ども国際平和プログラム』の活動全体を推進するため、市内の公私立小学校・中学校・義務教育学校及び特別支援学校の代表校長で構成する実行委員会を設置しています。

第1回 令和7年4月10日(木)

- ・実行委員会設置
- ・事業内容の審議

第2回 令和7年7月7日(月)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」実施案の審議
- ・子どもピースメッセンジャー、子ども実行委員の活動について

第3回 令和7年7月22日(火)、23日(水)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」の運営・審査

第4回 令和8年2月5日(木)

- ・令和7年度事業についての振り返り
- ・令和8年度事業計画について

職名	氏名	役職
委員長	角井 治朗	横浜市立小学校長会会長・横浜深谷台小学校長
副委員長	木村 典明	横浜市立中学校長会会長・釜利谷中学校長
委員	鳥越 政晴	横浜市私立中学高等学校長協会代表・サレジオ学院中学校高等学校長
	菊本 純	横浜市立特別支援学校長会会長・日野中央高等特別支援学校長
	大杉 昭雄	横浜市立小学校長会 多文化共生・国際教室研究部代表・いぶき野小学校長
	熊谷 博文	横浜市立中学校長会代表・あかね台中学校長
	鈴木 薫	横浜市立中学校英語研究会代表・金沢中学校長
	山本 憲司	教育委員会事務局学校教育担当部長
事務局長	多賀谷 亜希	教育委員会事務局学校教育担当課グローバルデザイン担当課長

「よこはま子ども国際平和フェスティバル」及び「よこはま子ども国際平和プログラム」事業経過

昭和61年度(1986)

- ・「よこはま子ども平和フェスティバル」開催(新都市ホール)
- ・平和に関する作文、絵画、歌(作詞・作曲)作品募集
- ・「子ども平和大使」国際連合派遣
- ・アフリカ難民救済基金(7,000ドル)

昭和62年度(1987)

- ・「よこはま子ども洋上平和フェスティバル」開催
- ・「国際平和学習資料」作成・配布
- ・フェスティバルでの決議による福祉活動・募金活動の実施

昭和63年度(1988)

- ・「よこはま子ども平和フェスティバル」開催(横浜文化体育館)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合及びユニセフ派遣(募金7,959,917円寄託)
- ・世界の平和についての作文募集
- ・「世界の平和についての作文集」作成・配布

平成元年度(1989)

- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催(横浜博覧会YESホール)
- ・世界の国々の児童生徒との交流(国連国際学校より招待)
- ・世界平和をテーマにしてポスター募集
- ・世界の飢餓に苦しむ子供たちのための啓発・援助活動

平成2年度(1990)

- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催(横浜文化体育館)
- ・ユニセフ東京事務所長チョードリ氏に高秀市長立ち合いのもと、募金を寄託(4,674,407円)
- ・「子ども平和会議」(パシフィック横浜)
- ・ボンベイ市、マニラ市、上海市からの児童生徒を招待、交流
- ・マスコットマーク募集
- ・フェスティバルでの決議による募金活動

平成3年度(1991)

- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
- ・ペレツ・デクエヤル国際連合事務総長へ募金を寄託(6,688,238円)
- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催(横浜文化体育館)
- ・「子ども平和会議」(パシフィック横浜)
- ・バンクーバー市、サンディエゴ市、国連国際学校の児童生徒を招待、交流
- ・マスコットマークの愛称募集
- ・フェスティバルでの決議による募金活動

平成4年度(1992)

- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー国際連合・ユニセフ本部派遣
- ・コフィ・アナン国際連合事務次長補へ募金を寄託(8,200,271円)
- ・「子ども平和会議」(横浜シンポジウム)
- ・リヨン市、オデッサ市、コンスタンツァ市の児童生徒を招待、交流
- ・「子ども平和まつり」(横浜文化体育館)
- ・「ペレツ・デクエヤル前国際連合事務総長講演会」(パシフィック横浜)
- ・フェスティバルでの決議による募金活動

平成5年度(1993)

- ・「よこはま子ども国際平和作文」募集
- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催(横浜文化体育館)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合・ユニセフ本部派遣
- ・ブトロス・ブトロス・ガリ国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金などを直接手渡す(8,754,208円)
- ・「ピースメッセンジャー都市子ども平和ミニ会議」開催(国連国際学校)
- ・フェスティバルでの決議による募金活動

平成6年度(1994)

- ・「よこはま子ども国際平和作文」募集
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」リヨン市・国際連合派遣
- ・「よこはまーリオン平和のモザイク」の共同制作
- ・「よこはまーリオン子ども平和会議」の開催
- ・「横浜市ーリオン市姉妹都市提携35周年記念式典」に参加
- ・ブトロス・ブトロス・ガリ国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す(7,053,059円)
- ・「第9回よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催(横浜文化体育館)
- ・「よこはま子ども国際平和作文集」作成・配布
- ・フェスティバルでの決議による平和募金活動

平成7年度(1995)

- ・フェスティバル10周年 戦後50年 国連創設50周年記念事業
- ・「よこはま子ども国際平和作文」募集
- ・ブトロス・ブトロス・ガリ国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す(6,804,535円)
- ・「よこはま子ども平和会議」開催(横浜シンポジウム)
- ・「第10回よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催(国立横浜国際会議場)
- ・国連国際学校生徒・国連関係者招待
- ・シルビア・ファーマン国際連合事務総長特別補佐官特別講演
- ・横浜市立小学校児童大合唱 組曲「よこはまからあしたへ」(神奈川フィルハーモニー管弦楽団演奏)
- ・「よこはま子ども国際平和作文集」作成・配布
- ・フェスティバル決議による平和募金活動
- 【特別企画】
- ・よこはま子ども国際平和フェスティバル第10回・戦後50周年記念パネル展
- ・「すいとん試食会」開催

平成8年度(1996)

- ・「よこはま子ども国際平和作文」募集
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
- ・ブトロス・ブトロス・ガリ国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す(8,268,762円)
- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催(パシフィック横浜小ホール)
- ・「よこはま子ども平和会議」開催(横浜シンポジウム)
- ・「第11回よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催(国立横浜国際会議場)
- ・オデッサ市副市長及び第35学校生徒・教職員招待
- ・「よこはま子ども国際平和フェスティバル〜よこはまから世界へ〜」ビデオ製作・配布
- ・フェスティバル決議による平和募金活動

平成9年度(1997)

- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
- ・コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す(7,758,052円)
- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催(神奈川公会堂、保土ヶ谷公会堂、戸塚公会堂)
- ・「第12回よこはま子ども国際平和フェスティバル」開催(国立横浜国際会議場)
- ・フェスティバル決議による平和募金活動
- 【特別企画】
- ・「平和行進曲」彫刻展協賛
- ・国連職員コーラス団受入れ支援

平成10年度(1998)

- ・「よこはま子ども国際平和プログラム」へ名称変更
- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催(予選:各区/本選:教育文化ホール、西公会堂)
- ・「よこはま青少年ピースメッセンジャー」青少年サミット派遣(イギリス・バーミンガム市)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
- ・コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す(7,923,996円)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成11年度(1999)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催(予選:各区/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
- ・ルイズ・フレシェット国際連合副事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す(5,393,708円)
- ・「子ども国際交流団」リヨン市派遣 横浜市〜リヨン市姉妹都市提携40周年記念式典に参加
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成12年度(2000)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
- ・ルイズ・フレシェット国際連合副事務総長と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す(18,791,996円)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成 13 年度 (2001)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催 (各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会訪問 駐日事務所長 具 三悦(サムエル・クワ)氏と会見 高秀市長メッセージと募金目録を直接手渡す(13,503,054 円)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」第2回子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議への参加
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー会議」の開催 「子どもピースアピール」の作成
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成 14 年度 (2002)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催 (各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会訪問 駐日事務所長 具 三悦(サムエル・クワ)氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣 コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す(14,661,177 円)
- ・「Say Yes for Children イン ヨコハマ〜ユニセフ親善大使ロジャー・ムーア氏を迎えて〜」の開催
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成 15 年度 (2003)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催 (各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会訪問 駐日事務所長 具 三悦(サムエル・クワ)氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣 ルイズ・フレシット国際連合副事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す(12,712,435 円)
- ・「よこはま国際子ども食料会議」の開催
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成 16 年度 (2004)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催 (各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会、国連広報センター訪問 駐日事務所長 浦元 義照氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣 コフィ・アナン国際連合事務総長と会見。中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す(10,787,935 円)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動
- ・「スマトラ沖大地震・インド洋津波被害救援募金」の呼びかけ

平成 17 年度 (2005)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催 (各区審査会/本選:保土ヶ谷公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ駐日事務所、日本ユニセフ協会訪問。駐日事務所長 浦元 義照氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣 マーク・マロックブラウン国際連合事務総長官房長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す(14,129,319 円)
- ・「パキスタン大地震被害救援募金」の呼びかけ
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成 18 年度 (2006)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催 (各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所長 浦元 義照氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣 コフィ・アナン国際連合事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す(14,534,847 円)
- ・「ジャワ島地震救援募金」の呼びかけ
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成 19 年度 (2007)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催 (各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所 ダン・ローマン日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣 アン・ベネマン ユニセフ事務局長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す(17,331,049 円)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成 20 年度 (2008)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催 (各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 ダン・ローマン兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣 アシャ・ローズ・ミギロ国際連合副事務総長と会見 中田市長メッセージと募金目録を直接手渡す(16,992,563 円)
- ・「ミャンマー・サイクロン・中国大地震緊急募金」の呼びかけ
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」の呼びかけによる平和募金活動

平成 21 年度 (2009)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催 (各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 功刀 純子 日本・韓国兼任代表と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(17,569,151 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 22 年度 (2010)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催 (各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(12,307,325 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 23 年度 (2011)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催 (各区審査会/本選:教育文化ホール)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(12,832,231 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 24 年度 (2012)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催 (各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣 ピーター・ランスキー・ティフェンサル広報担当国連事務次長と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(11,002,673 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 25 年度 (2013)

- ・「第5回アフリカ開発会議」横浜開催に関連して、「よこはま子どもピースメッセンジャー」等による首脳会議参加各国の首脳・閣僚の出迎え、横浜市議会会議場でのベナン共和国ゾマホン・ルフィン駐日特命全権大使の演説に対する御礼の言葉と花束贈呈等
- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催 (各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣 ピーター・ランスキー・ティフェンサル広報担当国連事務次長と会見 林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(11,245,358 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 26 年度 (2014)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ファ・ジャン広報局担当官と会見。林市長メッセージと募金目録を直接手渡す(9,541,620 円)
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 27 年度 (2015)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問。東京事務所 平林 国彦 日本・韓国兼任代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
クリスティーナ ギャラチャー広報担当事務次長と会見 林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 坂井スオミ 事務局最高顧問に募金目録を直接手渡す(9,767,656 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 28 年度 (2016)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
潘 基文 国連事務総長に林市長メッセージとピースメッセージを手渡す
- ・ユニセフ本部 オレン・シュライン 事務局上級顧問に募金目録を直接手渡す(9,578,214 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 29 年度 (2017)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
アリソン・スモール国連広報担当事務次長と会見 林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 山口郁子事務局上級顧問に募金目録を直接手渡す(9,773,765 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

平成 30 年度 (2018)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
アリソン・スモール国連広報担当事務次長と会見 林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 ファトゥマタ・ンジャエ事務局次長に募金目録を直接手渡す(9,914,494 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

令和元年度 (2019)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:西公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 木村 泰政 代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
ジョアン・マクドナルド国連事務総長特別代表(国連国際学校)と会見
林市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 ハナン・スリエマン副代表及びフィヤツ・キング副代表に募金目録を直接手渡す(9,869,608 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

令和2年度 (2020)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、よこはま子ども国際平和募金活動以外は中止

令和3年度 (2021)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:ビデオ審査)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合オンライン交流
中満 泉 国際連合軍縮担当上級代表と会見 ピースメッセージを渡す
- ・ユニセフ本部 パロマ・エスクデロ コミュニケーション局長及び功刀 純子 公的パートナーシップ局長に募金目録を渡す(7,570,984 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

令和4年度 (2022)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:南公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 ロベルト・ベネス代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
メリッサ・フレミング国際連合事務次長と会見
山中市長メッセージとピースメッセージを直接手渡す
- ・ユニセフ本部 イサ・アコバ副部長に募金目録を直接手渡す(8,841,519 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

令和5年度 (2023)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:南公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 ロベルト・ベネス代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
メリッサ・フレミング国際連合事務次長と会見
山中市長メッセージとピースメッセージを手渡す
- ・ユニセフ本部 ローレン ランブル氏に募金目録を手渡す(9,488,092 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動

令和 6 年度 (2024)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:南公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 ロベルト・ベネス代表と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
アミナ・J・モハメッド副事務総長と会見
山中市長メッセージとピースメッセージと募金目録を手渡す(7,298,347 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動
- ・「よこはま子ども国際平和シンポジウム」初開催(横浜市庁舎アトリウム)
山中市長挨拶 アミナ・J・モハメッド国連副事務総長メッセージ放映
国連大学上級副学長 白波瀬佐和子氏等登壇

令和 7 年度 (2025)

- ・「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」開催
(各区審査会/本選:南公会堂)
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」ユニセフ東京事務所、日本ユニセフ協会訪問 東京事務所 コミュニケーション専門官 中村友香氏と会見
- ・「よこはま子どもピースメッセンジャー」国際連合派遣
事務総長室 室長 コートネイ・ラットレー氏と会見
山中市長メッセージとピースメッセージと募金目録を手渡す(7,016,492 円)
- ・「子ども実行委員」ユニセフハウス見学
- ・「子ども実行委員」による平和募金活動
- ・「よこはま子ども国際平和シンポジウム」開催(横浜市庁舎アトリウム)
山中市長挨拶 国連開発計画 駐日代表事務所 TICAD 連携専門官 近藤千華氏登壇

どうしても今、セカイへ伝えたい

BLUE VOICE

発行

よこはま子ども国際平和プログラム実行委員会事務局
横浜市教育委員会事務局学校教育部学校経営支援課内

〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10 TEL 045-671-3494

この事業は、株式会社オカムラ様・横浜冷凍株式会社様の御協力をいただいで実施しています。